



若竹だよい



- 【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切に作る人間となろう
③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八カ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

【巻頭言】

起工式

園長 宮竹 恒

暑中お見舞い申し上げます。猛暑が続いておりますが、子どもたちは元気に過ごしています。

さて、7月22日（金）若竹学園分校増築工事 起工式を無事終えることが出来ました。不安定な天候が続いておりましたが、当日は雨もあがり、爽やかな風が吹く中、式典を行うことが出来ました。今後の工事の安全を祝福するかのようにでした。

当日、業務ご多忙中にも関わらず、ご臨席賜りました香川県教育委員会 教育次長様、高松市教育委員会 教育長様を始め、関係機関、役員の皆様方に厚く御礼申し上げます。

若竹学園の分校化は、子どもたちの未来を創る事業であると考えております。

学園で生活し分校に通うことで、学ぶことの楽しさを知り、人と協力する喜びを知り、自分に自信を持ち、自分で未来を切り開く力を育てることが願いです。

児童心理治療施設の治療の柱である「総合環境療法」の観点から、生活、心理、医療、教育の連携は必須であり、分校化を機会にあらたな土台創りが出来ればと考えています。

起工式を終え、令和5年2月末の竣工に向け、工事に着工いたしました。建物の整備と並行し、ソフト面の準備を関係機関の皆様方と協力し進めてまいります。 一了一



保育士 三嶋 優花

7月から育休後復帰しました。1年ぶりに子ども達に会うと、身長が大きくなっていました。また色々な言葉や知識を学んでいる姿に驚きました。

頑張っている事や出来るようになった事を子どもと一緒に喜ぶと子どもも嬉しそうです。産休前の私は、注意をする事も多々ありましたが、出産後子育てをしていく中で、子どもにとっては毎日が成長だと感じるようになりました。一つ一つ出来るようになった事を一緒に喜び、出来ない事やいけない事をしてると怒るのではなく、どうやったら出来るようになるかな？と家族やパートナーと話し合いながら考え、声を掛けて伸ばしてあげる事が大切だと感じました。学園も家庭と同じで職員間で話し合いをし、一人一人に合った目標を考えて支援をしています。これからも子ども達の事を考え、笑顔を大切に頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。

児童指導員近藤 未来

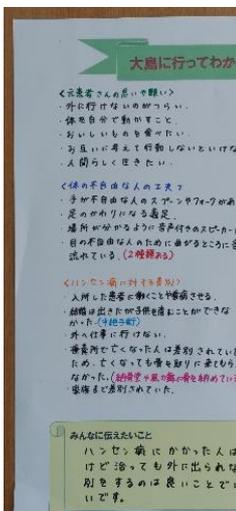
【ひと言】今年の3月まで、小学校の教員をしていました。6月に若竹学園に来て1カ月が経ちますが、周りの職員の方々や子ども達に学園の事を教えていただきながら日々頑張っています。元気な皆さんと過ごす時間を大切にしていきたいです。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

青峰・若竹学級だよ

総合学習のまとめ



先月、大島青松園へ行って学習したことをまとめました。どの子どもも、現地でメモした内容をもとに上手にまとめることができました。



学年末テスト



6月22～24日に中学校では1学期末テストを行いました。時間いっぱい問題に取り組む真剣な姿が見られ、学習の成果を発揮しようと頑張っていました。

水泳学習

小中合同で水泳学習を行いました。25メートルを速く泳ぐことや、自分は何メートル泳げるのかなど、自分の目標を決めて一生懸命練習していました。友だちと遊ぶだけでなく、



教え合ったり競争したりしながら、楽しい水泳学習の時間を過ごすことができました。



七夕飾り

小学6年生で、七夕飾りをつくりました。今年は工事のため仮の教室なので、簡単な飾りになりましたが、それぞれが短冊に願い事を書いていました。



終業式

学園の行事の関係で7月15日に終業式が行われました。どの子どもも、校長先生や園長先生のお話を、きちんとした姿勢で聞くことができました。





おやつ作り

おやつ作りでは、キャンプの朝ご飯メニュー「ちぎりパン」を作りました。材料は、ホットケーキミックス粉と卵、牛乳です。材料を全てボウルに入れて、スプーンや手で混ぜました。



生地がベトベトと指にまとわりつくので、子ども達は苦戦しながら丸めていました。早く丸め終わった子は、他の友だちに「こうやって丸めるんだよ」と上手く丸めるコツも伝えていました。



いろいろな形に仕上がったパンをほおぼると、「美味しい!」と言っていました。大変だった

分、出来た時の喜びは大きかったようです。しかし、生地の水分量が多く、こねる段階で上手くできなかったことから、もう一度チャレンジしたいという子もいました。材料の分量を見直して、再度ちぎりパン作りに挑戦したいです。



屋上遊び

起工式を終え、いよいよ分校増築工事が本格的に開始されました。園庭もフェンス等で覆われ、場所が限られて来ました。しかし、子ども達からはサッカーがしたいという意見も寄せられ、職員間でどうにか叶えてあげたいと思い、フットサルを屋上運動場にて行いました。

熱中症に配慮し、休憩と水分補給の時間をとりながら楽しく過ごせました。短い距離で多くのパスをつなげるので、連携をとりながら得点を決めた時に、チームの皆で喜び合う様子がありました。また、お互いに声を掛け合って非常に雰囲気よく遊ぶことができました。大人も手を抜かず真剣勝負でした。その中で、子ども達の諦めずに向かっていく姿から成長を実感しました。男の子に交じって参加している女の子も負けじと積極的に相手のボールを奪いに行ったりドリブルをしたりするようなガッツのあるプレーを見せてくれました。





7月23日に今年初めての若竹学園の海開きをして来ました。子ども達も海を目の当たりにすると、目を輝かせていました。海水温度も少し肌寒いぐらいでしたが、砂浜も日光に反射して暑かったので、時間いっぱい海水浴を楽しむことが出来ました。浮き輪の空気入れや、荷物の運搬など、準備を手伝ってくれる子どもたちも多く、助かりました。帰園時には「もう終わり?」「もっと泳ぎたかった。」という声も聞こえて来ました。

今月に川でのキャンプを企画している事もあり、ライフジャケットの着用の仕方や実際に付けてみてどれくらい浮くか等も含め、子ども達と一緒に試してみました。実際、試してみると初めての体験だったので始めは不思議な感覚がありましたが、次第に楽に浮かぶことができ安心感もあり、子どもも喜んで着用していました。

まだまだ暑い日が続くため、また海水浴に行く機会があれば良いなと思いました。



7月行事

23日	海水浴
24日	おやつづくり

在籍人数

令和4年8月1日現在

区分	県内(人)	県外(人)	合計(人)
小学生	2	0	2
中学生	7	1	8
合計	9	1	10

ご寄付ありがとうございます。

立野 省一 様 スポーツ用品等
退園生 お菓子沢山

編集後記

夏本番になり暑さを感じる日も増えてきましたが、熱中症やコロナに気を付けながら、夏の風物詩を堪能し、楽しんで行けたらと思います。

井上

第340発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp>

Eメール wakatake@4on.or.jp

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 宮竹 恒

